

日本共産党の竹田えつ子です こんにちはニュース 議会報告



No.162 2021年12月第4週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

2021年 お世話になりありがとうございました

コロナで始まり、コロナで終わる2021年です。デルタ株の感染拡大、特に東京五輪、GOTOトラベルなど政府の無為無策・間違った施策により感染が拡大し、自宅療養で命を失う方も多くいました。新たなオミクロン株の感染も心配です。同じことを絶対繰り返してはなりません。何より「命と暮らしを支える政治」を実現させていきます。

先の衆議院選挙では、残念ながら議席を後退させてしまいました。市民と野党の共闘を前進させ、新たな政権交代へ1歩踏み出しました。2022年は、参議院選挙の年・市長選挙の年です。市民と野党の共闘を一層前進させること、そして埼玉県選挙区で梅村さえこさんを国会に送り出すため力を尽くしていきます。

2021年、皆さんのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます。

2022年もよろしくお願致します。

市民の声が政治を動かす

鴻巣市でも子育て世帯へ10万円一括給付 市独自に960万以上世帯に1人5万円を

年収960万円以下の子育て世帯への10万円相当の給付は、臨時国会で一括給付も可能とする発言をしました。

制度は、当初5万円を現金で、翌年クーポン券5万円相当を給付する予定でしたが、国民世論に押され、岸田首相

鴻巣市でも、12月17日の議会最終日に、10万円の一括給付、960万以上世帯には市独自に子ども1人5万円を給

鴻巣駅東口にエレベーター設置、 事業化に向けた検討を行っていく

9月議会で鴻巣駅東口にエレベーター設置について、市長は難しいとしましたが、同時に必要と認めています。どうすれば設置できるのか検討すること、また調査費を予算化することについて12月議会

市は、エレベーター設置可能個所などの協議を継続するほか、既存建築物の構造や耐火性能等を調査しつつ、国や県の補助金活用などの財源措置等、事業化に向けた検討を行っていくと答えました。予算化については、調査の中で

92項目の「2022年度予算編成に対する要望書」を提出

12月21日、日本共産党市委員会・鴻巣市議団は「2022

2年度予算編成に対する要望書」を直接市長に提出しました。要望書提出にあたり市議団2名で市長と15分ほど懇談をしました。(予算要望にあたる要望の骨子、裏面掲載)

付する補正予算が出され、全員賛成で可決しました。質疑の答弁で、市民からの問い合わせ・要望が多数電話・メール等で寄せられたこと、離婚協議中の場合、児童手当の同居優先制度に基づき対応していくとしました。

コロナ禍で、子育て世帯以外にもまだまだ大変な方がいると思います。これからも声を上げていきましょう。

検討していきなりました。

今議会で、竹田えつ子の子他に2名の議員も一般質問を行いました。市民の皆さんの声と運動が、議会も市も動かし、実現するよう引き続き声を届けていきます。

12月20日現在の鴻巣市のワクチン接種状況 (12歳以上)

対象者	109,123人	
1回目接種	95,631人	87.6%
2回目接種	94,383人	86.5%

皆様のご意見・ご要望をお寄せください。要求実現のため一緒に力を合わせていきましょう！
〒365-0031 鴻巣市ひばり野1-30-18 ☎048-542-7072 FAX048-542-7101 携帯090-2553-5215
ホームページ 公式ウェブサイト <http://www.takeda-etsuko.com>



2022年度 予算要望にあたっての要望の骨子

日頃より、市民生活向上のためにご尽力されていることに敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大への対応、新たなる変異種オミクロン株等による第6波に向けての対策に予断を許さない状況です。

国においては臨時国会が開催されており、コロナ禍での経済対策の一環として子育て世帯への特別給付金が議論されました。当初、年内5万円支給、年が明けてからクーポン券5万円相当支給ということでしたが、多くの国民の世論に押され年内10万円一括支給の方針も加わりました。本市においては、12月定例会最終日に追加補正議案が提案され、国の方針同様、年内一括支給とともに市独自に所得制限で対象外となる世帯に5万円の支給を決定しました。迅速な対策を評価するものです。

一方で、コロナで失職した方や減収となった市民への対策も待ったなしです。市民のいのち暮らしを守る施策をいっそう進めていただきたく、来年度予算編成にあたって以下の92項目の要望の実現にむけて尽力されることを求めます。

市民の皆さんの声・要望を届けて

使用禁止になった
まの鴻巣駅東口
男性用トイレ



12月10日、鴻巣駅利用者から、東口の男性用トイレが使用禁止になって3か月以上経つが改修されないとの声が寄せられました。声を寄せていただいた方と現地を確認し、担当課に話したところ、コロナ禍で資材が入って来ないとのことでした。改修されない理由も示していただくよう要望しましたが、国内でのものづくりのあり方を考えさせられた出来事でした。

県道内田ヶ谷線鴻巣線 ひばり野1・2丁目間
来年度、舗装の打換え工事を行う予定

地域の方から、「大型トラックが通るたびにガタガタと振動がすごい、何とかしてほしい」との声が寄せられ、7月8日上尾市選出の日本共産党秋山もえ県議と共に、北本県土整備事務所と要望懇談をしました。その後、担当者が地域の方立会いのもと現地調査も行いました。北本県土整備事務所内で検討した結果、来年度7月までに舗装の打換え工事をしたいとの回答があり、今まで以上に舗装も厚くするとの事でした。

